



社会福祉法人

つどいの家

アプリ通信 No71

アプリのこと

平成 30 年 9 月 25 日発行
つどいの家・アプリ編集
〒982-0816
仙台市太白区山田本町 3-20
TEL 022-743-1882
FAX 022-743-1883



夏の甚平で夕涼み〜♪

今月の表紙はクレソングループの門真宏太さんです。8月4日に山田町内会の夏祭りに参加した時のものです。盆踊りの輪に混ざり、楽しく参加することができました。甚平がとても似合っていました！

(記：小原)

ひとりごと～理由があります～

先月のことです。福祉行政機関に利用者と一緒に会報を届けに伺った際に、トイレに置いてあったトイレットペーパーひとつを便器に流して、詰まらせてしまったと連絡が入りました。職員は大慌てで、廊下まで流れ出た水を必死に片づけました。後日、改めて謝罪に伺いながら、障がい特性についてお話しし理解を得ました。しかし、「職員が利用者に声がけをしてもらわないと困る」と言われたことが耳から離れません。

自閉症の障がいのある人の支援で、「絵にかけない言葉」はできる限り使わないようにしています。例えば、「やさしく」「あとで」「がんばる」など日常的に使っている言葉などが「絵にかけない言葉」です。私たちが、日常的にしている声がけで、自閉症の障がいのある人は、実は困り果てていることもあることを前提に支援に取り組んでいます。困り果てて、限界を超えるとパニック行動が起きます。人には、受容できる容量があります。コップで例えると、細いコップくらいの容量の人もいれば、何リットルも入る大きなコップの容量の人もいます。コップから水が溢れるとパニック行動になるというわけです。当時便器にトイレットペーパーを流してしまったこともコップから水が溢れてしまった結果かも知れないのです。

声がけだけで支援が成り立つのであれば、苦労しません。私たちの日中支援は、本人が自己実現できる場面をつくることや利用者の「困った」を解消していくこと、または、事業所を空っぽにしなが、障がいのある人をありのまま地域の方に理解してもらうことです。トイレットペーパーを流してしまったことは現実として受け止め、お詫びしなければなりません。そのトイレットペーパーを棚の中に閉まってもらい、視覚的に見えないような配慮をしてほしいということをお伝えしても、「職員に声がけしてもらいたい」という言葉でその場が終わってしまったことがとても残念でした。ひとり一人の行動には理由があることを、毎日出かけて取り組むしかありません。

(記：大累)



保護者コラム



「ゴーン」に目覚めた Joe 君

最近、Joe は那智が丘（名取市）の那智神社によく行くようになりました。

地元では、通常、204 高地（ちなみに、日露戦争の激戦地が 203 高地です。）

と呼ばれ、仙台平野の南半分から仙台空港までを見渡すことができる展望台があります。

少し前に所さんの全国区テレビにも取り上げられました。

境内にも、展望台の下にも樹齢 800 年と思われる杉の巨木があり、Joe のマンションは見えません。

遊歩道もあるので、皆さんも是非おいで下さい。

行く度に、神社の宮司様には申し訳ないのですが、心ばかりのお賽銭をおあげし、本殿にお参りした後に必ず梵鐘を鳴らします。

「ゴーン」してから、鐘向かって、手を合わせてお辞儀をし、「サイ」（ごめんなさい。）と言います。

日頃の悪行の数々を懺悔しているのか（特にコンビニでのバカ買いを）、その時だけは、とても神妙な顔をしています。

パパは早く Joe の体重が 100 キロを切りますように。そして、早く、アプリの職員方をはじめ、お父さんお母さん方と生ビールで祝杯を挙げられますように、深く深くお願いをしているのですが、なかなか願いが成就しません。

お賽銭が少ないからでしょうか。

(記：高橋穰父)

研修報告



「社会福祉法人 あゆみの家」さん

7月17日から20日までの4日間、岐阜県にある社会福祉法人 あゆみの家さんで施設見学・実習をしました。4日間の日程の中で、生活介護事業所 デイセンターあゆみの家、障がい福祉サービス事業所 ぐっどらんど・とうだいまえ、ヘルパー事業所 あおぞら、多機能型事業所 林町デイセンター、きすな 2006（グループホーム事業所）など様々な事業所を見学させていただきました。どの事業所でも、利用者さんと普段関わっている中で「こうしたらできるかもしれない」という職員さん一人ひとりのちょっとした気づきやアイデアがたくさんあり、ぜひ実践していきたいと思いました。

また、今回の実習を通してあゆみの家の利用者さん・職員さん・保護者さんとお話しさせていただく中で、場所は離れていますが同じ志や目標に向けて取り組んでいる人たちがいると実感し、心強くなりました。今回の実習で学んだこと感じたことを今後の支援に活かしながら、障がいのある人への理解を広げていけるよう地域に発信していきたいと思います。

（記：佐藤（愛））

あゆみの家さん
外観です！



あゆみの家さんの作業品です



てんかん基礎講座に参加してきました

皆さんは「てんかん」についてご存知でしょうか？脳の中で突然意図しない電気信号が起こり、身体の一部、または全身に様々な症状を起こす発作を繰り返す病気で、国内では100万人もの患者がいます。原因不明のものから、先天的な脳の傷、事故等による脳への外傷や脳梗塞を始めとした脳の病気も要因の一つとなり、いつ誰が発症してもおかしくない病気だそうです。

今回、8月8日と9日に東京の汐留で行なわれた「第41回 てんかん基礎講座」に参加してきました。2日に分け、てんかんとは何か、てんかん発作が起きた時の対応という基礎的なことや、服薬・外科治療等についての説明が行われました。

アプリにもてんかんのある利用者が複数名おり、私自身も初めて利用者の発作を目にしたときに「どのように対応すればいいのだろう」と戸惑いを感じたことを覚えています。話を聞く中で、発作がいつ起こるかわからないということや発作による体の負担に、本人や家族も大きな不安や辛さを感じているのだと改めて感じました。

発作が起きた際、まずは本人の安全を確保し、発作が落ち着くまで見守るのが大切とのこと。今回学んだことを生かし、発作が起きた際に冷静な対応ができるように心がけていきたいと思っています。

（記：寺島）



「バザーっす！」 終了しました！



9月15日(土)、毎年恒例となりました「～アプリのお宝市～バザーっす！」が開催されました！開幕前に雨がぽつぽつ。「今年も天気に恵まれないのか・・・」と思っていましたがバザーが開幕すると雨はあがり、晴れ空に！！たくさんあった商品もあっという間になくなり、来場した皆様から「とても楽しかった」「ありがとう」など、うれしいお言葉をいただきました！

今年度で8回目を迎え大盛況のうちに幕を閉じた「バザーっす！」は、たくさんの笑顔で溢れました！地域行事の一つとして根付き、皆様が楽しみにしてくださっているのだと感じ、アプリー同心から嬉しく思います。バザーを開催するにあたり、物品提供やポスター掲示などのご協力をいただきました皆様、また、協力団体として一緒にバザーを盛り上げてくださいました、まるたま様・ポッケの森様・希望の星様・フリゴレス様に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。（記：石田）



バザーっす！の楽しみ方

保護者会会長 大山 延江

今年で開催8回目となるアプリのお宝市バザーっす！！

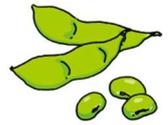
開催前から多くのお客様にお並び頂き、お迎えする私たちのテンションも徐々に上がり始め、いざオープン！毎年お越し頂いている方も多く、まずは皆さまそれぞれにお目当てのブースに。お気に入りの品を手にした後は、アプリフードコートにて一服。「良い物があって楽しかった」「美味しかった」の笑顔が何よりも嬉しく、疲れも吹き飛んでしまいます。

最後になりましたが、地域の皆様よりご提供頂いた沢山のバザー協力品をはじめ、利用者・職員・ボランティア・保護者によるチラシ配布、物品整理、会場担当等、何一つ欠けても開催することは出来ませんでした。このイベントに携わって頂いたすべての方に深く感謝申し上げます。





農作業を行なって



昨年度より山田地域にお住まいの沼田さんから畑をお借りし、夏野菜と冬野菜を育てています。今年の夏は、とうもろこし、枝豆、ミニトマトと3種類の野菜を育てることになり、沼田さんと利用者と、一緒に苗植えを行いました。実際に育てていく中で分からないことがたくさんあり、ちゃんと育つのか不安もありました。インターネットを使って調べたり、保護者に相談したほか、沼田さんからたくさんのご協力を頂き育てることができました！育てた野菜は、保護者が購入してくれたり、アプリ夏祭りで行われたバーベキューで皆で食べたりしました。「トウモロコシが甘くておいしかった」「枝豆おいしい」との声が聞かれ、とても好評でした。現在冬に向けて大根を植えています。また皆でおいしく頂きたいと思います。

(記：笹原)



☆アプリバーベキュー☆

8月4日は通所後の時間で利用者、保護者と一緒にバーベキューをして、楽しみました。お父さんの慣れた手つきでスムーズに火を起し、料理に取りかかりました。バーベキュー定番の焼肉はもちろんのこと、アプリ厨房の創作料理に皆お腹も心も満たされました。食べ物が沢山載ったテーブルを囲みながら、アルコールのおかげ？で会話も大盛り上がり。箸もお話も時間ギリギリまで止まりませんでした。

バーベキューの後は、山田町内で行われた夏祭りにも参加しました。音に合わせて踊る人、盆踊りの曲を楽しく聞いている人、屋台に夢中の人など一人ひとり夏祭りの楽しみ方が違い、思い思いに満喫しました。

当日バーベキューを手伝っていただいたお父さん、参加された皆様ありがとうございました。

(記：高杉)



アプリ合同アート

先日、ミント・バジル・カモミールの3グループ合同でアート活動を行ないました！キャンバスは、10メートルを超える長いさらし。参加者一人ひとりが、筆はもちろん、ローラー、スポンジ、ブラシ、絵の具を混ぜたシャボン玉、そして自らの手などを使い、大胆にキャンバスに想いを表現していました。両手を真っ赤に染めてペタペタ手形を付けたり、ローラーでおいしそうなショートケーキを描いたり、さらにはスポンジで自宅の庭を表現したり。普段のアート活動とは一味違って大人数の分、楽しい声や笑顔も普段の数倍！大盛り上がりの活動となりました♪ (記：榊原)



ボランティアさん大募集！！

つどいの家・アプリには、音楽活動が好きな人・アート活動が好きな人・外出活動が好きな人等様々な利用者が通っています。そんな個性豊かな利用者と一緒に活動をしたいただけるボランティアさんを大募集しています。

時間帯は、10：00～15：30になります。午前・午後のみでも構いません。ぜひ、皆さんと一緒に活動に参加して頂ければと思います。興味のある方は、つどいの家・アプリまでご連絡下さい。(記：蜂谷)

TEL：022-743-1882

住所：仙台市太白区山田本町 3-20



缶つぶし作業 アート活動

街中外出

編集後記

気が付けば夏も終わり、すっかり秋の気温になってきました。夜はコオロギ等秋の虫がコロコロと鳴いていますが、日中はまだ暑い時もあるので体調管理に気をつけて利用者と一緒に活動を行なっていきたいと思います。(記：蜂谷)